

2026年5月1日

大阪市長 横山英幸 様

要望書

釜ヶ崎就労・生活保障制度の実現を目指す連絡会

共同代表 本田哲郎・山田實・山中秀俊

去年秋からいよいよ旧あいりん総合センターの解体が始まりました。私たちは跡地に利用したい人々のそれぞれが希望に沿った仕事を探せる求職センター、就労・生活のあらゆる相談に応じてくれる相談窓口ができ、地域の外からやってきた人たちも受け入れ、地域の誰もが集える居場所となること、そういった場所として地域が活性化し、失業して野宿をしたり、食べ物に困ったりすることなく、にぎやかに過ごせる街の象徴となる「センター」ができることを願っていることはこれまでもなんどもつたえてきたところです。

大阪府、大阪市が力(行政施策)を出し合って「あいりんまちづくり会議」の議論を踏まえた「誰もが安心して働き生活できるまち」、「再チャレンジができるまち」として大阪の活性化の象徴となるような「まちづくり」を進めることが必要だと思います。

今、低所得層である私たち釜ヶ崎労働者を取り囲む社会は、昨年の政府の農業政策の失敗によるコメの供給不足(今年の倍の米価)から、円安による飼料、肥料を含む、農産物の高騰の中での全食料品の大幅な値上げに直面し、さらに中東でのアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃により中東情勢は悪化し、終わりの見えない戦争に突入し、原油の9割以上をこの地域からの輸入に頼る日本はますます経済的不安を増し、諸物価のこうとうがよそうされ、生活の先行きの未投資が経たなくなっています。この間の実質賃金の低下、生活費における食費の割合(エンゲル係数)が上昇がさらに深まり困窮の度合いを増すものと推測されます。

この街の住人のさらなる困窮化だけでなく、社会全体で失業する物も増えこの街を頼ってくる者も増えることと思われまます。

1. 特掃輪番労働者の就労日数を13日以上に増やしてください。日雇い雇用保険との

併用で生活保護並みの収入を得られるようにし、野宿、シェルター生活から脱却できるようにしてください。

2. 釜ヶ崎(あいりん地区)は他の街と違い、労働力を一か所にプールする目的で財界の要請に応え大阪市、大阪府、国が作り上げてきた街です。そこでこの街では労働と生活が一体となった形で存在してきた歴史があり、今もそうした形で存続しています。新労働施設に就労・福祉一体となるワンストップ相談窓口を創ってください。幾度となく繰り返し議論を重ねてきた労働施設検討会議・エリアマネジメント会議就労福祉部会での議論を尊重し、労働者団体、労働者支援団体、地域住人の意見を取り入れながら、大阪府と連携し、仕事が欲しい、働きたいと願う誰もが求職活動ができるような相談窓口・就労が安定するまでの福祉的支援を織り込みそれを支えてください。

以上、これまでのように労働福祉センター任せにするのではなく、大阪市自らが国や大阪府、西成労働福祉センターとの連携を密にし、全国の手本となるべき労働・福祉センターを作ってください。

- ①失業し、釜ヶ崎へ仕事を求めてやってきた人たちが野宿をしたり、飢餓に陥り貧困ビジネスに取り込まれることなく安心して居所、職探しのできる相談窓口を創ってください(ワンストップ相談窓口)。
- ②窓口はただ相談場所を案内するだけの係ではなく、大阪府と連携して、相談者の抱える問題を解決できるような、居住から就労までを一か所で相談できるような機能と能力を持った専門のコーディネーターを置いて真にワンストップとなるようにしてください。
- ③困窮して窓口に来た相談者が当座の生活・求職活動資金(交通費、通信費など)を賄えるような超短期で簡単な仕事ができるような仕組みを創ってください。
- ④困窮者グループの回答では不十分なので、夜間、土日祝祭日など行政窓口が開いていない時間帯の対応策を立て、明らかにしてください。

3. 地域内の B 型支援作業所の実態について教えてください。

4. シェルター利用者や、街なかでも 55 歳未満の若年層が増えてきて、B 型就労支援作業所の炊き出しなどに多数集まっているのが見受けられます。生活保護+B 型就労支援に取り込まれなくても済むような若年層への就労支援を創ってください。

5. この間生活保護費の切り下げが不当に行われてきたことに対し、国は最高裁判決を遵守しているように見受けられません。

- ① 大阪市は最高裁判決を遵守してください。
- ② 生活保護費を物価高騰に見合った額に増やしてください。

6. あいりん貯蓄組合休眠預金のことについては別途要望を創りましたので要望書への真摯な回答をお願いします。

以上、これまでのように就労～自立への問題を民間市場、府や国の労働政策、労働福祉センター任せにするのではなく、大阪市自らが他機関と連携を密にし、全国の手本となるべき労働・福祉センターを創ってください。

以上、要望いたします。